

「中高年等の地域への参画を促す学習プログラム集」 の作成について

国立教育政策研究所では、平成22年度から成人（中高年等）の地域への参画を促す学習プログラムの開発に関する調査研究を行ってきており、このたび、その成果として10件のモデルプログラム等をまとめた学習プログラム集を作成しましたので公表します。

（アドレス：<http://www.nier.go.jp/jissen/index.htm>）

1 学習プログラム集の背景・ねらい

- ・近年の急速な少子高齢化の中で、高齢社会を生きる一人一人が、共に地域社会を支える一員として充実した人生を過ごすことができるような社会としていくことが求められている。
- ・平成24年3月の内閣府「高齢社会対策の基本的な在り方等に関する検討会」報告書では、年齢によって一律に65歳以上の者を高齢者として「支えられる人」と捉えることを改め、全世代が参画する社会づくりを目指すことが提言された。
- ・同年3月の文部科学省「超高齢社会における生涯学習の在り方に関する検討会」報告では、人生100年時代を見据えた新しい高齢者観や価値観を広げること、新たな学習機会や支援プログラムの開発・提供を行うことなどが提言された。
- ・こうした中で、高齢期に入る前の中高年（40～50代）の頃から地域社会との関わりを豊かにしていくための学びを全国に広げていくため、10件のモデルとなる学習プログラムを開発した。

2 本学習プログラム集の特徴

平成23年度に聞き取り調査を行った地方自治体の特色ある取り組みを基に、地域参画を促す学習プログラムの企画・展開の留意点を示すとともに、①地域とつながる、②地域の人を生かす、③地域を支える、④学習活動の支援、⑤地域に関心を持つ、⑥地域課題を知る、の六つの観点から、それぞれの学習プログラムの特徴をレーダーチャートにより分かりやすく提示。

（各プログラムの名称とねらいは裏面）

3 調査研究委員会メンバー

- 委員長 野島 正也（文教大学学長）
委員 青山 鉄兵（文教大学専任講師）
伊藤真木子（常磐大学助教）
熊谷慎之輔（岡山大学准教授）
梨本雄太郎（宮城教育大学教授）

4 調査研究結果の活用・今後の予定

- ・社会教育実践研究センターにおける各種講習等の資料として活用。
- ・都道府県・指定都市教委及び全国の生涯学習推進センター等に配布するほか、社会教育実践研究センターのホームページに報告書の全文を掲載予定。

（お問合せ）

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

（<http://www.nier.go.jp/jissen/index.htm>）

社会教育調査官 波塚 章生（直通 03-6863-4988）

社会教育調査官 濱中 昌志（直通 03-3823-8682）

研究補助者 松橋 義樹

〔広報担当〕企画普及室 普及・国際係長 飯塚 昭義

電話：03-6733-6812（直通）

＜モデルプログラムの一覧＞

番号	モデルプログラム名	プログラムの特色	プログラムのねらい
1	あなたもなれる！ おケイコ講師デビュー 一応援講座	人材バンク登録者が実際に講師を体験	<p>地域とつながる 5 4 3 2 1 0</p> <p>地域課題を知る</p> <p>地域の人を活かす</p> <p>地域を支える</p> <p>学習活動の支援</p> <p>地域に関心を持つ</p>
2	地域生涯学習サポーター養成講座	講座参加者が実際に事業を企画・実施	<p>地域とつながる 5 4 3 2 1 0</p> <p>地域課題を知る</p> <p>地域の人を活かす</p> <p>地域を支える</p> <p>学習活動の支援</p> <p>地域に関心を持つ</p>

番号	モデルプログラム名	プログラムの特色
3	イクメン・イクジイ募集中！	中高年男性の地域デビューへの心理的ハードルを下げる取組
4	公民館探訪 ～Do You Know KOMINKAN ?～	公民館職員と学生・市民とのコラボによる地域づくり
5	われら地域活性化請負人	コミュニティ・ビジネスの手法を活用した地域の活性化
6	地域の魅力、選んで伝えて再発見	ウォークラリーを通じた地域の再発見
7	「食」から学ぶ「いのち」と「暮らし」 ～夫婦・カップルで楽しむ「休活」～	食を通じた地域活動への第一歩
8	セカンドキャリア・セミナー ～地域で見つけるビジネスチャンスと人生のヒント～	企業の応援を得て行う地域活動へのソフトランディング
9	地域とつながる暮らし応援講座	パッケージ方式による地域課題への取組
10	冬季おとなの学級	孤立しがちな中山間地域での絆づくり